



国際交流事業に3億余円寄付

次代を担う児童生徒の豊かな国際感覚の育成を目的として、1990年から毎年市に多額の寄付をしていただいている(株)望月塗工に紺綬褒章が授与されることとなり3月18日、市役所で伝達式が執り行われました。これまでに同社からいただいた寄付額の合計は昨年までで3億1100万円で、この寄付金は主に小中高生の海外研修に活用されています。

◀「世界で活躍する人が育ってほしい」と話す望月勲代表取締役



観光ラッピングカーを披露

御前崎市の観光名所である御前崎灯台の絵を車体にプリントした公用車が3月30日、市役所でお披露目されました。図柄は静岡デザイン専門学校の学生から募り、寄せられた15点の中から渡邊葵さん(静岡市)のデザインを採用。車体は夕日の色をメインに、灯台のほかにも帆船やヤシの木が描かれています。今後は「走る広告塔」として各地で市をPRしていきます。

◀渡邊葵さん(左から3人目)がデザインしたラッピングカー



スポーツを通じ成長しよう

御前崎市スポーツ少年団の入団式が4月3日、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のもと、市研修センターで規模を縮小して開催されました。

西島昌和本部長は「スポーツ少年団に所属している子どもたちは、スポーツを通じて健全な体と強固な精神力を養っている。本年度も明るく元気に活動してほしい」と激励しました。

◀団員を代表して団員綱領を読み上げる松尾初姫さん(女岩区)



人形から平和の尊さを学ぶ

浜岡北小学校が4月16日、市の指定文化財である青い目の人形「マーベルワレン」を題材にした道徳の授業を実施しました。昨年度は新型コロナウイルスのために休校だったことから、今年は3、4年生を合わせた計50人が参加。教員から人形の逸話を聞いた児童は「人形が焼かれなくて良かった。これからも大切にしていきたい」と思いを語りました。

◀「マーベルワレン」を見つめる児童